

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成19年12月13日(2007.12.13)

【公開番号】特開2006-127134(P2006-127134A)

【公開日】平成18年5月18日(2006.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2006-019

【出願番号】特願2004-314168(P2004-314168)

【国際特許分類】

G 08 G	1/00	(2006.01)
G 01 C	21/00	(2006.01)
G 06 Q	50/00	(2006.01)
G 08 G	1/09	(2006.01)
G 09 B	29/00	(2006.01)

【F I】

G 08 G	1/00	A
G 01 C	21/00	C
G 06 F	17/60	1 1 2 G
G 08 G	1/09	F
G 09 B	29/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月29日(2007.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

交通情報の提供方法であって、所定の道路区間で対向する方向を除く複数の交通流が発生した場合、前記複数の交通流の状態について、各々独立した交通情報として提供する、交通情報の提供方法。

【請求項2】

請求項1記載の交通情報の提供方法であって、

前記複数の交通流のうち、所定の道路区間における通過車両台数から、少なくとも第一の交通流と、第二の交通流に分離し、各々独立した交通情報として提供する、交通情報の提供方法。

【請求項3】

請求項2記載の交通情報の提供方法であって、

前記第一の交通流と前記第二の交通流の分岐点または合流点の位置を明示して提供する、交通情報の提供方法。

【請求項4】

所定の道路区間における交通流を受信する手段と、前記所定の道路区間で対向する方向を除く複数の交通流を受信した場合、前記複数の交通流の状態について、各々独立した交通情報として生成する生成手段とを備えた交通情報提供装置。

【請求項5】

請求項4記載の交通情報提供装置から交通情報を受信して、デジタル地図における所定の道路区間で各々独立した交通情報を表示する制御部を備えた受信装置。

【請求項6】

車両の走行軌跡情報から対象道路区間を特定し、前記対象道路区間における複数の交通流で互いに所定の流速差がある場合に、各々第一の交通流、第二の交通流として独立した交通情報を生成し、前記各々生成した交通情報を受信側に提供する、交通情報の提供方法

。

【請求項 7】

コンピュータに交通情報の生成を実行させるプログラムであって、
所定の道路区間で対向する方向を除く複数の交通流が発生した場合、前記複数の交通流の状態について、各々独立した交通情報を生成する手順をコンピュータに実行させるプログラム。